

長崎県立宇久高等学校「総合的な探究の時間 Uku Labo」

Uku Laboが目指す姿

- ・地域の人や自然、資源等を題材として、「究極の少人数教育」を生かした主体的・科学的に自らの「好き」を追究する姿
- ・自らの「好き」を通して地域や社会と向き合う中で、自己の在り方を見つめ、「好き」が自らの生き方・価値観につながる姿

見つける

- 自己や他者と向き合い、「好き」に関する課題を設定する。
- 課題の現状を分析し、研究対象を明らかにする。

深める

- 問いと仮説、方法と実践を繰り返す。
- 活動を通して、対象と問い、仮説、方法のズレを修正する。

究める

- 得られた結果を分析・考察し、課題の解決に寄与する。
- 活動成果を文字や言葉にして表現する。

学びを支える「DX」 どこでも、誰とでもつながる「相互配信機材」、正確な実験や検証・分析を可能にする「科学機器」、ポートフォリオに役立つ「高性能記録機材」

わたしの好き

生き方・価値観

Uku Labo Cycle - 7 Keysを伸ばす活動の各場面 -

- 『実践』の類型
- 対話型 ● インタビュー、ワークショップ
 - 観察型 ● 生物・事象観察、行動記録
 - 調査型 ● 文献、アンケート、サンプリング
 - 実験型 ● 実験・検証、試作(プロトタイプ)
 - 表現型 ● 作品制作、提案書、イベント企画



7 Keys ミライをひらく 7つの能力

- ① 自己開示的対話力
- ② セルフランニング力
- ③ コラボレーション力
- ④ レジリエンス力
- ⑤ 情報編集力
- ⑥ 創造的問題解決力
- ⑦ 共鳴的プレゼンテーション力

教育活動における探究タイプと生徒の活動・教師の役割

探究タイプ	生徒の関与度	生徒の思考レベル	生徒の活動	教師の役割とロールモデル	
自由型	非常に高い	高 (新たな概念・価値の創造)	全過程の自律的活動	(伴走)	Inquirer Learner Facilitator Coordinator Mentor Teacher
設計型	中～高	中 (目的に適した方法の模索)	方法・実践・分析・結論	問い	
誘導型	低～中	中 (結果を基にした解釈)	実践・分析・結論	問い・方法	
再現型	非常に低い	低 (既定作業による再現)	実践(確認・記録)	問い・方法・分析・結論	

探究タイプに応じた教師の役割の変化
↓
各場面に応じた「学びの最適化」

Uku Inquiry Based Learning - 私の「好き」を究める -